

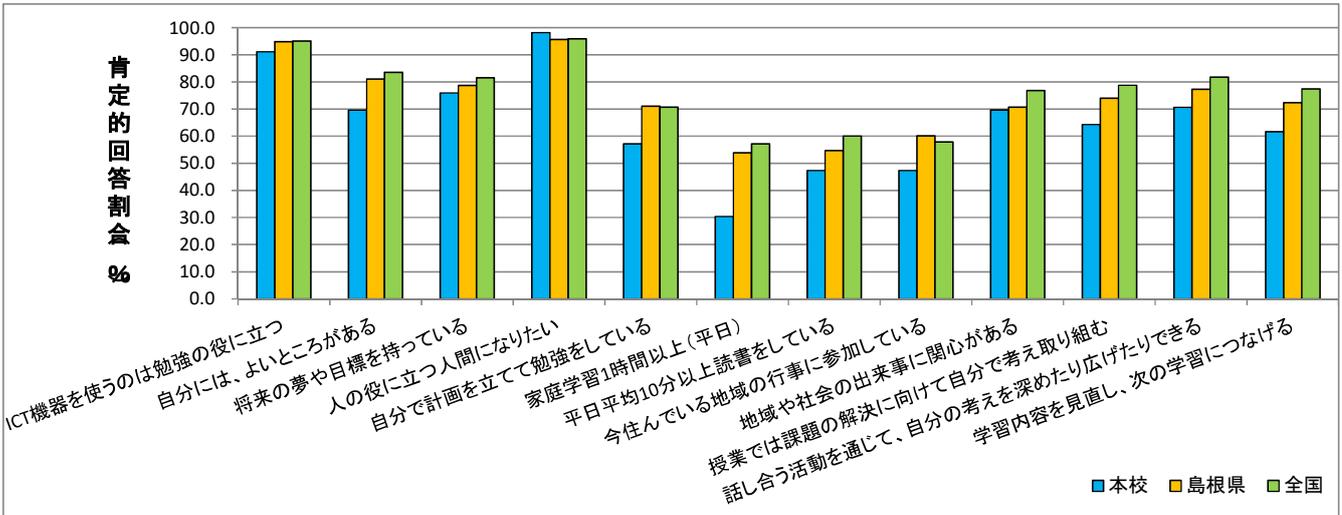
(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
国語	○原因と結果など情報と情報の関係について理解している。 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使っている。 ●資料を工夫して自分の伝えたいことを書く。 ●話し手の伝えたいところを考えながら、内容を捉える。	・国語科を含め、様々な教科で必要な語句を使ったり、字数制限をつけたりして文章を書くことを意識していくことを重視する。 ・活字に多く触れさせ、わからない言葉は調べて覚える習慣をつけることで、語彙力を向上させる。
算数	○伴って変わる2つの数量について、表から変化の特徴を読み取る。 ●図形の意味や性質についての理解。 ●高さが等しい図形について、底辺と面積の関係を基に、面積の大小を判断する。	・定義や性質について、構成要素に着目して理解し、キーワードを使いながら説明する力を身に付けさせるよう指導する。

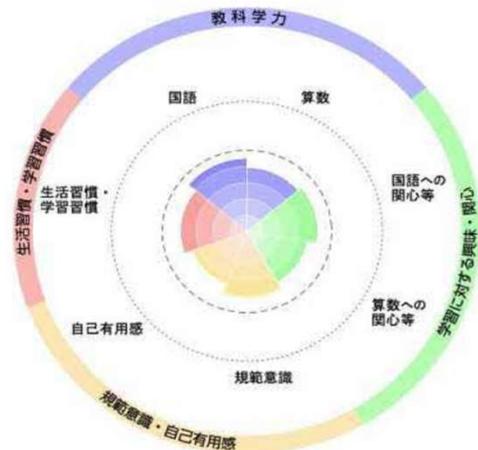
(2)児童質問紙調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策(・)
質問紙	○人の役に立つ人間になりたいと考えている。 ●家庭学習が平日1時間未満の児童が多い。 ●自分には、よいところがある。	・家庭学習の質と量のバランスを考え課題を出し、時間を意識して取り組めるように学習時間を記録する。 ・道徳や特別活動等において、児童同士が認め合う場を設定する。

(3)児童質問紙調査の結果より(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています。)



(4)学力・学習状況調査結果チャート(破線は全国平均)



(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・基礎、基本的な内容の定着を図るために、まとめや話し合いでの「言語化」「類題問題での確認」など、工夫をしていく。
 ・学力向上につながるタブレットを活用した学習のあり方を検討し、必要な資質、能力を育てる。

【受検者数】

109 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。